

住人十色

第 118 回

和紙への思いが高じて内子町へ その魅力を多くの人に伝えたい

青山 優歩さん(31) 〓平岡〓



◎和紙のほかにもデザインの専門書や絵本が並ぶ「ゆるやか文庫」の前で。「内子天神紙の市」の開催日は5月25・26日です。

和紙を原料から学ぶため、徳島県の和紙会館で働いていた青山優歩さん。元地域おこし協力隊の渡邊真弓さんとの出会いを機に、1年前に内子町に移住してきました。理由を聞くと「和紙職人をして

いる渡邊さんと意気投合。内子の和紙を盛り上げようと移住を決めた。将来は和紙を使う人と職人とをつなぐ仕事をした

い」と和紙への思いがあふれ出ます。渡邊さんの店の2階に、「ゆるやか文庫」という貸本屋を開いた青山さんは、「和紙や紙の専門書は高かったり、探すのが大変だったりするので、私が集めた本を必要な人に貸し出している。互いに情報交換できる場所になれば」と説明します。

「5月に和紙や本が好きなたちと『内子天神紙の市』というイベントをする」と声を弾ませる青山さん。参加者がおすすめ本を持ち寄る「一箱ライブラリー」や、包装紙やチラシなどを納めると新たな紙モノに生まれ変わる「天神紙神社」、紙体験ワークショップなど、楽しい企画がいっぱい。青山さんは「デジタル化の時だからこそ、和紙に触れて感じてほしい。紙と本から、スマホにはない新しい豊かさを発見できるイベント。心と体で和紙の良さを感じてもらえたらうれしい」と思いを語りました。

編集 幸記

▽2年連続の内閣総理大臣賞に、ただただ驚いています。受賞した12月号では、「わ」まつりの組み写真などを担当しました。全国の舞台で、住民の皆さんの笑顔が詰まった紙面にスポットライトが当てられると思うと、この上ない喜びです(航)

▽たくさんのお祝いの言葉をいただき、ありがとうございます。みりりの方、皆さんも喜んでくれて、うれしさも倍増でした。5月からカタログポケットも始まるので、より伝わる広報紙になるよう頑張ります(裕)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

